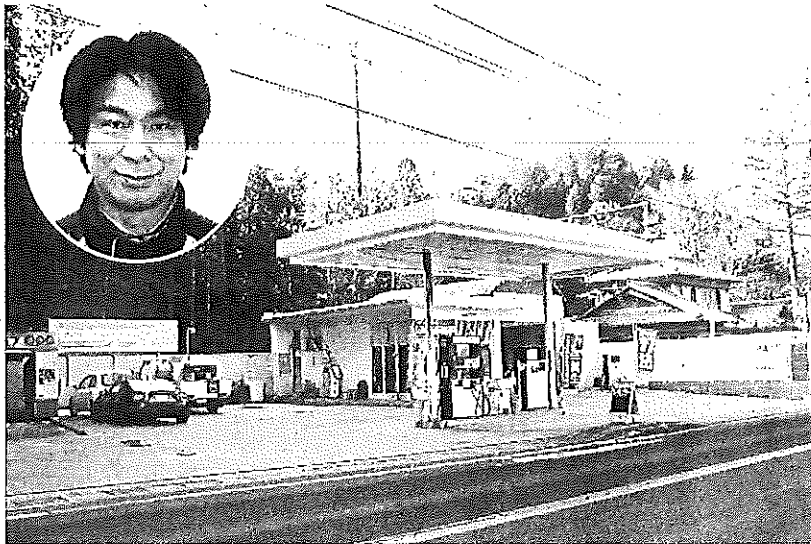


# SIRで油漏えい対策

## 低コストが魅力で導入



### 美濃産業

美濃産業のSS（円内は伊藤氏）

【瑞浪市＝岐阜】美濃産業（PB系）本社瑞浪市陶町）は、昨年三月の営業開始以来、SIR（統計学的在庫管理）で油漏えい対策をしている。多額の初期投資を必要とせず、地下タンクの法的要件（地下タンク、配管法定点検、老朽化地下タン

クの漏えい対策）をクリアできることがSIR導入の理由だ。

SIRは、国内ではエンバイロ・テック・インターナショナル（本社＝東京千代田区、以下EIT社）だけが提供している。同社によればSIRは、全国危険物安全協会が地下タンク検査の「その他の方法」と認め、改正消防法でも常時監視の一手法にあげられ、設置経年劣化年数の長い老朽化タンク（五十年未満）の漏えい対策としても認められている。

SIRによる管理は簡単。毎日の入荷、出荷、終業時在庫量をEIT社の専用サイトに入力するだけ。EIT社からは検査結果の報告が毎週あり、報告書が毎月送られてくる。

美濃産業のSSは、かつて同社出資会社が経営

していたが、約三年前に廃業。地元住民の要望もあり、昨年二月に美濃産業が直接経営し、営業を再開した。

営業再開に際し最も問題となったのは埋設から四十年以上経過した十餘地下タンクが四本もあったことだ。当時の経営状態ではFRPライニングや電気防食に投資する余裕はなく、思案したあげくにたどり着いたのがSIRだったという。伊藤寛隆氏は「初期投資がタンク検査料を含めて数十万円で済んだ。管理料も一室当たり月額五千円と安い」と、SIRを選んだ理由を語る。

同社は電気防食装置を近く、設置する方針で準備を進めている。その際SIRも並行して行う予定。二重の漏えい対策でより安全性を高めようとしている。